

NTT コミュニケーションズ社会貢献施策における学校と家庭の連携推進について

～ブロードバンドネットワークの活用による開かれた学校～

NTTコミュニケーションズ株式会社 ソリューション事業部 e-ガバメント営業部 川本 保

1. 事業の目的と背景

- (1) 現在、教育現場を取り巻く背景としては、少子化による学校の廃校や統廃合が進んでいる。
- (2) また、「いじめ・不登校・学級崩壊・青少年（低年齢）犯罪の増加」などは社会問題化しているとともに学校における危機管理が問題視されている。
- (3) 家庭においても「親と子の会話の欠如」により生活習慣やモラルの低下を招くとともに地域社会における交流が欠如しているように推測される。
- (4) このような社会現象の中で「開かれた学校」を目指すには、単に学校の門を開放するだけではなく、ネットワークを利用し「学校と家庭・地域」とのコミュニティを活性化することが望ましいと考える。
- (5) また、ITを利用することにより、従来の学校の役割に新しいスタイルが取り込まれ「学校と家庭」の連携が充実するとともに地域の情報発信基地としての役割を果たすこととなる。

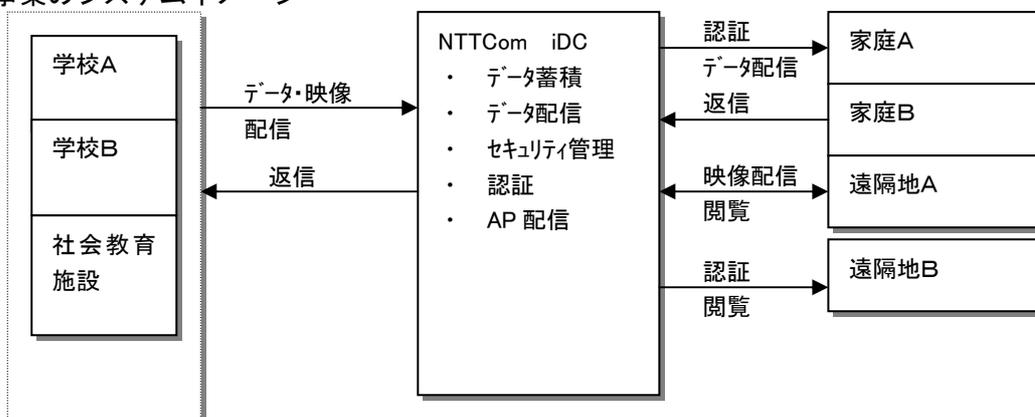
2. 事業概要

本活動を通じて「学校・家庭・地域社会」におけるネットワークモデルを確立するとともに総合的な教育ネットワークサービス（コンテンツ配信含む）の提供を行い、ブロードバンド時代の社会（教育）スタイル変貌の核となるべく活動を推進する。

3. 事業内容

2002年9月より2003年8月末まで、岐阜県内の公立小学校2校を公募により選定し、各学校の5年生（現在は6年生）の全家庭約135世帯と、学校、美術館、図書館などの社会教育施設をブロードバンドネットワークにより接続し、学校における日常の教育活動（学級案内（便り）、学校行事案内）や授業支援（家庭での学習支援も含む）、電子授業参観（テレビ会議等での配信も含む）などを行った。

4. 事業のシステムイメージ



5. サービスメニュー（実施内容）

サービスメニュー	機能（目的）	プロダクト	提供先
学校（学級）案内 （電子掲示板）	学校（学級）行事等を掲示することにより開かれた学校を目指す	グループウェア等	家庭・社会教育施設
学級だより配信 （各種相談等）	学級便りの配信と家庭からの返信により双方向での連携が充実	電子メール グループウェア等	家庭
学級ビデオ （オンデマンド配信）	学校での行事や課外授業などを蓄積し配信することにより学校と家庭と地域の連携を行う	ストリーミング配信 等	家庭・社会教育施設
電子授業参観 （ライブ配信）	授業をリアルタイムで配信することにより保護者と教師の信頼関係の向上を目指す	ストリーミング配信 等	家庭・遠隔地
アプリケーション（コンテンツ）配信	IT授業の支援やデジタルテストの実施、自宅での学習（宿題）の向上を目指す	WBT コンテンツ	学校・家庭・社会教育施設
ヘルプデスク	IT授業の支援、システム運用サポート（チームティーチング含む）	IT人材等	学校・家庭・社会教育施設
無線LAN	児童が学校と家庭の双方で無線LANアクセスにてインターネット（ポータル）接続できる	無線LAN パソコン 無線LAN アクセスポイント	学校・家庭

6. 実施計画（スケジュール）

	2002年		2003年				
	1月～6月	7月～12月	1月～3月	4月～8月	9月		
技術及び制度検討	←→						
実験スキームの確定	←→						
モデル校の公募	←→						
説明会の実施		←→					
システムの構築		←→					
システム稼動						→	
推進会議の設定						→	
システム終了						←→	
システム移行						←→	

7. 評価と課題

- (1) ポータルサイトのトラフィック分析結果
- (2) 保護者アンケート結果
- (3) システム上の課題